

令和5年度

保育所の自己評価 実施報告書

社会福祉法人泉光会 いづみの杜

いづみ保育園

保育所保育指針では[保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。]ことが明記されています。これに基づき、当園では今年度を振り返り、自己評価を実施いたしました。評価の結果を踏まえ、今後もより良い保育になるよう努力していきます。

◆評価について◆

評価の方法	<ul style="list-style-type: none">・評価実施対象者は当園常勤職員(7名)・評価表にそれぞれが採点し、意見・改善策を記入・採点后、7名で評価内容についてのミーティングを実施・評価内容をまとめたものを報告書として提出
評価の算出方法	<ul style="list-style-type: none">・4段階で評価 A:大変良い B:良い C:一部検討を要する D:改善を要する・上記4段階を数値化し、平均点を算出 A:4点 B:3点 C:2点 D:1点・総合評価は平均点の小数点第二位以下を切り捨てし、4段階で評価 A:4~3.1点 B:3~2.1点 C:2~1.1点 D:1点以下

◆保育所の自己評価結果と意見・改善策◆

◎保育計画の編成と実践に関する評価

項目	内容	評価 (4点中)
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	B
	(2) 目標は、各施設や地域の特徴を生かしているか。	B
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	B
	(4) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	B

項目	内容	評価 (4点中)
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	A
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	B
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	B
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	B
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。	B
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	A
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	B
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	B
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	B
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	A

【評価点】

- ・保育目標に沿って、[子どもファースト]を常に頭に入れて、保育できていた。
- ・園児数が少ないことで、子ども一人一人に寄り添い、心の安定を図りながらの保育ができた。
- ・年度途中で、いつ、何人の園児が入園してくるかわからない中、臨機応変に対応できた。
- ・保育環境は、子どもの様子に合わせて設定することができた。
- ・指導計画や月案・週日案等は複数の職員で相談して立案することができた。
- ・日案は子ども達の健康状態や天気等を踏まえて、臨機応変に変更等の対応ができた。
- ・今年度は乳児中心の保育なので、行事数を多くするよりは、日々の保育の充実が優先と考え、それを実行できた。
- ・8月からの保育再開だったが、その中でもハロウィンやクリスマス等の季節の行事を経験できたのは良かった。

【改善点・来年度へ向けて】

- ・月1回程度は可能な限り多くの職員が集まって、会議を開催する必要がある。
⇒現在は週1回程度、書面を回覧する形での情報共有となっている。書面の回覧だけでなく、意見や情報を交換する場が必要。
- ・足りない教材等が多く、また、現在ある教材等も使用可能かどうかを確認する。
⇒令和4年度の1年間、使用しなかった用具・教材等があるため、使用前には必ず点検したり、使用できるかどうかの判断を適切におこなったりすることが必要。
- ・現在使用している玩具の中にも古いものが混ざっていることがあるので、使用前には点検等をおこなう。
⇒年数が経過している玩具は欠けたり割れたりする(している)可能性があるため、使用前や毎日の玩具消毒時に確認することが必要。
- ・季節の歌は今も保育の中に取り入れているが、朝の会等で意識的に積極的に歌うようにする。
⇒来年度以降、全クラス共通で[今月のうた]を1曲決めて、取り組むようにする。
- ・毎朝9時頃に、出席園児数や職員配置、本日の活動内容についてのミニミーティングをおこなう。
⇒担当クラスだけでなく、他クラスは1日をどう過ごすか、職員は誰がどのクラスにいるか等、1日の全体の流れ等を頭に入れて保育することが必要。
- ・園だよりには月の行事予定を掲載しているが、実際にその行事等を実施する前にも再度口頭や表示で保護者にお知らせするようにしていく。
⇒連絡帳に行事での様子等は記載するが、行事前から家庭でも行事の話をしてもらうことで、子ども達がさらに期待感をもって、楽しみにして、行事当日を迎えられるのではないかと考える。

◎保育計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目		内容	評価 (4点中)
経営組織	分掌・体制	(1) 能率的・合理的な運営組織になっているか。	B
		(2) 職務内容が明確で協働できる体制になっているか。	B
		(3) 職員の配置は適材・適所か。	B
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	B
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	B
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	B
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。	B

	年齢別・クラス運営	(1)	年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	B
		(2)	年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	B
		(3)	年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	B
		(4)	同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	B
		(5)	意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	B
		(6)	評価、資料（諸記録）を集積しているか。	B
	保健・安全指導	(1)	年齢別・クラス運営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	B
		(2)	避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか。	B
		(3)	健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	B
		(4)	乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を行っているか。	B
研究・研修	園内研究	(1)	研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	C
		(2)	園内研究の計画・運営は適切か。	B
		(3)	研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	C
		(4)	研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。	C
	研修	(1)	各種研究会、研修会、講習会への参加体制の充実を図っているか。	B
		(2)	各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。	B

【評価点】

- ・園児数が少ないこともあるが、クラスの垣根を越えてのチームでの保育ができています。
- ・職員それぞれが日々のねらいや目的等を達成するために意図をもって保育している。
- ・[手洗い集会]を開催し、看護師から正しい手洗いの仕方を子ども達に指導したり、[ほけんだより]を通して適宜、各家庭に感染症対策等、時期に応じた啓発をおこなったりできた。
- ・避難訓練等で、安全指導を意識し、また、非常事態を想定した取り組みをおこなえた。

【改善点・来年度へ向けて】

- ・ICT 業務（連絡帳や帳票類の入力等）をするのは主担任と決まっているため、主担任に大きな負担がかかっている。その業務を他の職員も分担することができるようにして、時間的な余裕を作り、全員で話し合える時間を増やす等、保育内容の充実につながるような工夫をする。
- ・各種イベントや行事の打ち合わせ機会を増やし、イベントや行事内容の更なる充実につなげる。
- ・主担任以外も月案や週案等の内容を確認する機会を作り、活動やねらい等を共有して保育にあたる。
- ・次年度以降は保健指導内容についても、保育内容と照らし合わせて確認しながらおこなう。
- ・職員それぞれの段階に合った研修や研究会へ積極的に参加する。
- ・研修に参加しやすい環境（雰囲気・シフト等）をより作る。
- ・職員会議の内容を充実させて、各種園内研修もおこなう。
- ・幼保小との連携、[わくわくひろば]等の子育て支援・地域活動等の内容を充実させる。

項目	内容	評価 (4点中)
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	B
	(2) 公文書收受・発送・処理を適切に行っているか。	B
	(3) 各帳票等は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	B
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	C
	(2) 玩具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	B
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	B
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	B
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	B

項目		内容	評価 (4点中)
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等との年間交流計画は保育目標や課題に沿ったものになっているか。	B
		(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	B
		(3) 指導者同士が打ち合わせや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	B
		(4) 参観や保育・授業等に参加する等して、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。	B
		(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	B
開かれた保育所づくり	家庭・地域との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	B
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	B
		(3) 乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	B
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域文化や生活に触れているか。	B
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、ホールや保育室等を開放しているか。	B
		(2) 地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	B
		(3) 「子育てについて」等、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	B
		(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	B
		(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	B
	情報の発信	(1) 園だより・ほけんだより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	B
		(2) 行事や子育て支援事業を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	B
	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	B

	(2)	地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	B
--	-----	-------------------------	---

【評価点】

- ・不審者情報は適宜区と共有して、それに基づき、戸外活動の行き先を変更したり、施錠を再確認したりする等を徹底した。
- ・外掲示板には季節の壁面飾りをしたり、都や区等からの情報を掲示したりして、有効活用できた。
- ・使用しない玩具や遊具等は3階の教材等保管スペースにて管理している。その際、何がどこにあるか、どのようにしまうか等を写真で示したり、見出しを付けたりして、誰が見てもわかるように整理整頓した。
- ・園だよりやほけんだよりを前月末に発行している。園だよりには翌月の行事予定やクラスからのコメントを掲載したり、ほけんだよりではその月や季節に合った情報を発信したりした。たくさんの情報を詰め込みすぎないようにし、わかりやすく読みやすく保護者へ伝えられるように心がけた。
- ・子育て、地域支援事業として、8月の園児入園前から[わくわくひろば(未就園児の会)]を定期的に開催した。試行錯誤の中、準備等も大変だったが、多くの親子の参加があった。結果、入園につながった面もあり、とても有意義な会になった。

【改善点・来年度へ向けて】

- ・公園に出掛けた際、子ども達が遊び始める前に安全点検やゴミ拾いができなかったことが度々あった。それらの実施を徹底するようにする。
- ・他の施設の交流が全くできなかった。次年度以降は何ができるかから検討し、実施する。
- ・保護者との交流が送迎時と連絡帳のみになっている。保育参加や保護者会等を検討し、実施する。
⇒今年度、2月後半から3月上旬にかけて、個人面談を実施予定。
- ・[わくわくひろば]等の子育て支援イベントを実施するも、なかなか参加の親子が集まらない。午前中に公園でチラシを配布する等しているが、もう少し効果的な宣伝・周知方法がないか検討する。
- ・こども支援センターげんきや障害福祉センターあしすと等との連携を充実させたい。
- ・近隣小学校との連携について、今年度は5歳児クラスの園児が不在だったり、運動会をおこなわなかったりしたため、実施できなかった。来年度からはできることを検討し、実施する。